

山形市

# 野草園だより 46号



シンボルマーク  
原画 阿部功雲氏

## ミヤマカスミザクラ (バラ科)

花期 5月中旬

平成16年当時、本園職員だった志鎌節郎氏が以前から園内に自生しているサクラの木が他と違っていることを発見しました。大場秀章 東大名誉教授による調査の結果、ミヤマザクラとカスミザクラが自然交配した新種であることが分かり、和名「ミヤマカスミザクラ」、学名は発見者の志鎌節郎氏の貢献を讃えて「*Cerasus × shikamae* H.Ohba」と命名されました。

花序が総状で目立つ苞葉があるところは、ミヤマザクラに似ています。葉が出るのと同時に花が咲くところや、花弁の先が2つに裂けている点は、カスミザクラの特徴を受け継いでいます。

# 春に咲く植物たち



**マルバマンサク**

マンサク科

和名は、黄色の花が枝いっぱい咲くので豊年万作から来たという説と、「まず咲く」がなまったという説があるそうです。



**オオミスミソウ**

キンポウゲ科

雪解けのあと、落ち葉を押しつけて咲くので「雪割草」とも言われています。



**セツブンソウ**

キンポウゲ科

節分の頃に咲くのでこの名がついたそうです。野草園では雪が解ける4月上旬に咲き出します。



**オオバナノエンレイソウ** ユリ科

北海道に多く自生し、大群落を作るそうです。大きな3枚の葉の上に白い花をつけます。



**イカリソウ**

メギ科

花の形を舟の碇に見立ててこの名がつけられたそうです。主に太平洋側の山地に生える多年草です。



**ホオノキ**

モクレン科

花は枝先に上向きにつき、甘い香りがします。大きくて香りのよい葉は朴葉味噌に使われる等、今でも食物を包むのに使われています。

# 自然のたくみさ・ふしぎさ



## 早春に咲くザゼンソウ

早春、雪の残るミズバショウの谷で咲き出すのがザゼンソウです。紫褐色の花のように見える部分は仏炎苞という葉が変化したものです。仏炎苞の中にある楕円形の部分が花（肉穂花序）です。

ザゼンソウは、他の花から花粉を運んでもらわなければ種を作ることができません。また、最低気温が氷点下になる寒い時期に花を咲かせるため、花粉を運んでもらう虫たちも活発に動き回ることができません。

そこで、ザゼンソウの花は自ら発熱し、気温の低い早春でも虫たちに花粉を運んでもらうことで繁殖を手伝ってもらっています。花の内部の温度は外気温より5～10度高くなっているようです。

4月中旬になるとミズバショウの谷では、野草園のシンボルでもあるミズバショウが咲き始め、ザゼンソウとミズバショウそれぞれ1万株が群生している様子を見ることができます。県内で両方の花が自生しているところは他にないそうです。



ザゼンソウ



ミズバショウの谷（4月下旬）



ミズバショウ

# 園内に咲くサクラ

野草園には、自生種と園芸種あわせて18種類のサクラが生育しています。  
早いものは4月中旬頃から、遅いものは5月下旬頃まで花を楽しむことができます。  
ひと口にサクラと言っても、花の色や花弁の枚数、葉のつき方、毛の有無などによって細かく分類されます。  
今回掲載したサクラの他にも、園内ではソメイヨシノやヤマザクラ、ジュウガツザクラなど様々な品種を観察することができます。  
春は野草園でそれぞれのサクラの違いを見比べてみてはいかがでしょうか。



オクチョウジザクラ



ミネザクラ



オオヤマザクラ



エドヒガン



ベニシダレ



カスミザクラ



ミヤマカスミザクラ



ミヤマザクラ



イヌザクラ

平成25年度

# 写真コンテスト 入賞作品

**最優秀賞**



先客 羽江良一さん

**20周年記念賞**



瀧山太鼓 太田昭市さん

小中学生の部 **最優秀賞**



こんにちは 谷口奈生さん

**優秀賞**



初秋の色  
渡邊あや子さん

**優秀賞**



秋草とあそぶ  
佐藤悦子さん

## 審査を終えて

審査員代表 阿部直美

「自然と人間の共生」をテーマとして平成5年に開園した野草園は、今年20周年を迎えました。そして、野草園の魅力をつめた写真コンテストも20回目の節目を迎えました。今回は、一般の部では50人から175点、小中学生の部では7人から33点の応募がありました。

一般の部で最優秀となった羽江良一さんの「先客」は、ヒョウモンチョウ2頭がサラシナショウマに止まった姿を望遠レンズで捉えた作品です。緑をバックに浮かび上がった白い花に2頭のチョウがバランスよく止まっています。構図、ピント、露出全てに優れた作品です。

20周年記念賞には、太田昭市さんの「瀧山太鼓」を選びました。5月4日に開催された野草園のイベントを広角系のレンズで捉えています。オオヤマザクラ、青空と雲、観客の姿等周囲の情景も入れて撮ったことで、5月の野草園の爽やかさが伝わってくる作品です。

優秀賞の佐藤悦子さんの「秋草とあそぶ」は、アサギマダラがフジバカマに止まっている姿を捉えた作品です。アサギマダラを大きく撮った応募写真が多い中、画面全体に草花の緑を配し、アサギマダラを小さく撮り入れたことで、可憐な姿が強調された日本画的な作品です。

また、同じく優秀賞の渡邊あや子さんの「初秋の色」は、ルリタマアザミに止まったトンボを望遠レンズで捉えています。逆光で撮影したことでトンボの羽のスジまでが表現されています。バックをシンプルにしたことで、トンボの姿が強調されたとても綺麗な作品です。

小中学生の部の最優秀となった谷口奈生さんの「こんにちは」は、カメラ目線のカナヘビを捉えたものです。とてもおとなしい生き物ですが、望遠系レンズを使い上手に撮りました。上からの光と緑の葉の反射光、それらが相まってカナヘビが可愛らしく見える作品です。

優秀の菅原正登さんの「二十周年記念」は、紅白のセンニチコウで作った野草園開園20周年の“20”の文字を撮ったものです。野草園の草花を撮影するだけでなく、イベント等も含めて野草園が持つ多面的な部分の一つを捉えた点が良かったと思います。

同じく優秀の谷口貴栄さんの「バツタのひとやすみ」は、最優秀の「こんにちは」の撮影手法と同じですが、画面を整理するとさらに良くなった作品です。バツタの後ろに伸びる草の茎を外すようにもっと左か右に体を移動して撮ると良かったと思います。

全体的に花や野草、それとチョウ等をアップ気味に捉えた作品が多かったのですが、植物図鑑、昆虫図鑑の写真になることなく、「自然と想いと安らぎ」を求めて野草園を訪れる人々と自然の触れ合いの姿を皆さんの感性で撮影していただきたいと思います。

最優秀をはじめ、入賞されました皆さん、おめでとうございます。これからも野草園の魅力皆さんの目で引き出していただけるような、素晴らしい作品創りに励まれますようご期待いたします。

# 催しもの スナップ



▲ラベンダースティック作り



▲木工工作教室



▲そば打ち体験

## お知らせ

平成26年度の開園は、4月1日(火)です。

当日、先着100名に  
花苗を  
プレゼントします!

※3月29日(土)~3月31日(月)にプレオープンします。

## ●主な催し

### 展示

- 野草園写真展(紅の蔵)  
→4月上旬~中旬
- 春の山野草展  
→5/3(土)~5/5(月)
- ポタニカルアート作品展  
→9/7(日)~9/21(日)
- きのご写真展  
→9/23(火)~10/13(月)
- 第21回写真コンテスト入賞作品展  
→10/18(土)~11/9(日)

### 観察会

- ガイドウォーキング  
→4月~11月まで毎週日曜日  
祝日、5月と9月の毎週土曜日
- 四季観察会  
→5/17(土)、6/14(土)、7/12(土)、  
8/30(土)、9/20(土)、10/25(土)  
平成27年2月、3月
- ホテル観察会  
→6/27(金)~6/29(日)、  
7/4(金)~7/6(日)
- 星空を見る会  
→7/19(土)、10/24(金)
- 早朝バードウォッチング  
→4/20(日)

## 体験教室

- 桜オリエンテーリング  
→4月下旬~5月中旬の週末
- 紅葉オリエンテーリング  
→10月中旬~下旬の週末
- ミニSL運行  
→4/26(土)、4/27(日)、7/27(日)、9/27(土)
- 乗馬体験  
→春祭りの2日間、秋祭りの1日間
- ガーデニング教室  
→6/7(土)
- 山野草の育て方教室  
5/13(火)、9/23(火)
- ラベンダースティック作り  
→7/19(土)、7/26(土)
- 木工工作教室  
→7月、8月(3回)
- 工作体験  
→春祭りの1日間、秋祭りの1日間
- そば打ち体験  
→6/21(土)、10/4(土)、10/11(土)
- 親子そば打ち体験  
→8/2(土)
- オキナグサ講習会  
→6月
- プリザーブドフラワー教室  
→9/6(土)
- ポタニカルアート教室  
→未定

- ハーブリース作り  
→10/12(日)
- コンサート  
→5/5(月)
- 工作コーナー  
→7/26(土)~8/17(日)

## コンテスト

- 野草園の魅力を探る写真コンテスト  
→募集期間:8/1(金)~9/30(火)

## その他

- 春の野草園祭り  
→4/26(土)~5/6(火)
- 夏の野草園祭り  
→7/26(土)、7/27(日)
- 秋の野草園祭り  
→9/27(土)、9/28(日)
- やまがた舞子撮影会  
→春祭りの1日間
- 餅つき大会  
→4/29(火)、9/28(日)
- 瀧山太鼓演奏  
→5/4(日)
- バクダン振舞い  
→7/27(日)
- 焼き芋  
→10/13(月)

※都合により内容の一部が  
変更になる場合があります。

## この花を 探せ!



見つけられる  
かな?



ネコヤナギ  
(開花時期 4月)



ヒメサユリ  
(開花時期 6月)



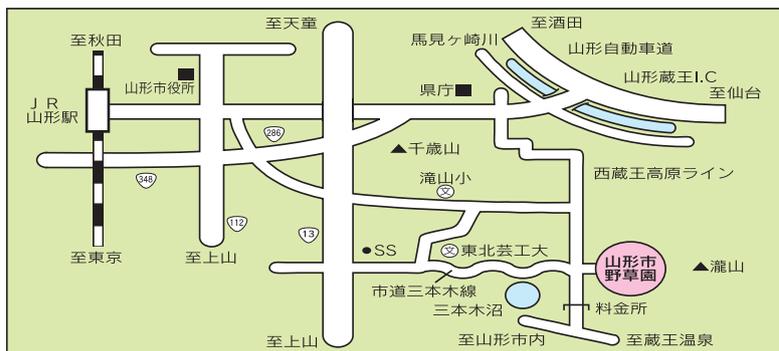
エゴノキ  
(開花時期 6月)

## 《開園時間等》

- 開園時間  
4月~5月 9:00~16:30  
6月~8月 9:00~18:00  
9月~11月 9:00~16:30
- 休園日/毎週月曜日  
ただし、月曜日が祝日・休日の場合はその翌平日  
※4月の第3月曜日から6月の第2月曜日まで休まず開園します。
- 冬期間休園/12月~3月
- 入園料  
大人/300円  
高校生以下/無料  
◆団体割引(20人以上の場合)  
大人/240円  
高校生以下/無料

## 《交通案内》

- JR山形駅より山形交通路線バス西藏王・野草園行き終点下車(約30分)
- 山形自動車道蔵王I.Cより西藏王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
- 滝山小、芸工大方面より岩波経由又は、ヒルズサンピア方面より市道三本木線経由で国道13号線から家用車15分



## 野草園だより

編集・発行/山形市野草園



46号/平成26年3月発行(年2回発行)  
〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3  
TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121

## ◀野草園のホームページ▶

<http://www.yasouen.jp>